

新市民病院での重点的取り組み

本院は昭和21年熊本市民生病院として開設されて以来、70年の長きにわたり地域医療の中核を担ってきました。

小児・周産期医療の分野では、総合周産期母子医療センターとして緊急を要する母体や新生児を県内外から多く受け入れ、診療各科の連携のもとに集学的な医療を提供してきました。また地域の医療機関と連携し、地域がん診療拠点、脳卒中急性期拠点病院、急性心筋梗塞急性期拠点病院など幅広い疾患の急性期医療の拠点として力を尽くし、二次救急医療機関として救急医療にも取り組んできました。

今後とも、小児・周産期医療などの高度急性期医療をさらに強化充実するとともに、地域の医療機関との連携を深め、地域の医療ニーズを正確に捉え、より地域に必要とされる急性期病院として貢献していきたいと考えています。

小児・周産期医療

総合周産期母子医療センターとして、緊急を要する母体や新生児を速やかに受け入れ、診療各科が連携して集学的な医療を提供します。

急性期医療

地域の医療機関との連携を強化し、生活習慣病やがんなどに対する質の高い急性期医療の提供に努めます。

重点分野

救急医療

二次救急医療機関として、救急患者を24時間体制で受け入れます。

政策医療

災害に即応できる体制を整えるとともに、感染症医療に取り組んでいきます。

診療科・部門構成

31診療科

(院内標榜科名*)

外科系部門

消化器外科
乳腺・内分泌外科
呼吸器外科
婦人科
整形外科
脳神経外科
皮膚科
泌尿器科
眼科
耳鼻咽喉科
歯科口腔外科

小児・周産期医療部門

新生児内科、小児科、
小児循環器内科、
小児心臓外科、
小児外科、産科

中央診療部門

放射線科、麻酔科、
集中治療科*、救急科
病理診断科

内科系部門

脳神経内科
呼吸器内科
消化器内科
循環器内科
血液・腫瘍内科
腎臓内科
代謝内科
感染症内科
精神科

新市民病院の機能・特徴について

患者支援・利便施設

○患者サポートセンターの設置

- ・ 予約受付、入退院支援、患者相談、地域連携など一体的に支援します。

○ファミリーハウス

- ・ 遠方からの小児入院患者の家族への宿泊施設の提供

施設：宿泊室（洋室2、和室1）、キッチン、
談話室、洗濯室

○連携薬局（敷地内）

- ・ 患者の利便性の向上と特定薬の処方の対応として敷地に連携薬局を設置

○コンビニ・カフェ

- ・ 1階にコンビニ（ファミリーマート）
- ・ 2階にカフェ（シアトルズ ベストコーヒー）を設置

新しいICTの活用

○患者案内板の改良

- ・ 診療の進行状況の表示による待ち時間の見える化

○患者案内のプッシュ通知

- ・ 患者登録メールアドレスへの診察順に関する通知

○自動精算機キャッシュレス

- ・ 自動精算機でのクレジットカード等による精算

○院内でのタブレット活用

- ・ NICUなど入室ができない場所での面会設備の提供

○メディカルネットワーク推進

- ・ 利用施設（病院や施設等）をネットワークで結び患者（同意必要）の情報を共有するもの